

第55回デメンシアカンファレンスを開催

2019年10月8日

10月8日（火）に富山大学が担当する北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン（認プロ）「第55回デメンシアカンファレンス」を開催しました。

今回のカンファレンスには、金沢大学、富山大学、福井大学、金沢医科大学、国立病院機構医王病院、石川県立高松病院、国立病院機構北陸病院、谷野呉山病院、魚津緑ヶ丘病院、福井県立すこやかシルバー病院の10施設が参加しました。

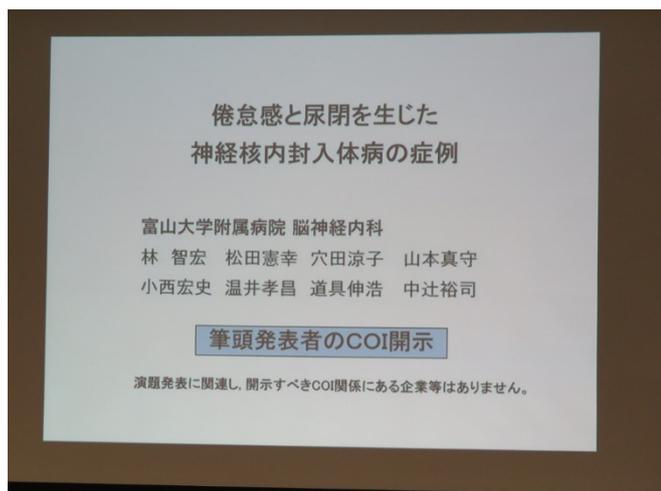
「倦怠感と尿閉を生じた神経核内封入体病の症例」のタイトルで、富山大学からの症例報告が進められ、活発に質疑応答や意見交換が行われました。



症例発表の様子



各会場の様子



症例のスライド



質疑応答の様子

第 55 回デメンシアカンファレンス 報告要旨

『倦怠感と尿閉を生じた神経核内封入体病の症例』

発表者：林 智宏（富山大学附属病院 脳神経内科）

司 会：道具 伸浩（富山大学附属病院 脳神経内科）

【要 旨】

症例は 67 歳女性。主訴は嘔気、嘔吐、倦怠感。既往歴に 50 歳代からの排尿困難がある。X-1 年 10 月に発熱、倦怠感、発疹が出現し、1 ヶ月で改善した。X-1 年 11 月から悪寒、咳嗽を繰り返し、食欲不振が持続しベッドで寝て過ごすことが多くなった。X 年 3 月尿閉を認め、フォーレ留置となった。頭部 MRI FLAIR 画像で広範囲の脳白質高信号病変を認め、当科紹介となった。神経学的所見では、MMSE22/30 点、FAB9/18 点、縮瞳、四肢腱反射減弱、四肢運動失調、両上肢末梢の触覚鈍麻、両下肢の痛覚過敏、閉脚立位困難、膀胱直腸障害を認めた。頭部 MRI DWI では脳の皮髄境界に沿った高信号病変を認めた。髄液検査では細胞数は正常で、軽度蛋白上昇を認めた。ミトコンドリア病、神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症 (HDLS) 遺伝子解析、脆弱X 症候群遺伝子解析で異常は認めなかった。皮膚生検では、汗腺細胞や線維芽細胞に抗ユビキチン抗体、抗 p62 抗体陽性の核内封入体病を認めた。以上より、神経核内封入体病と診断した。頭部 MRI 画像 DWI で皮髄境界に沿った高信号病変を認めた場合、診断のために皮膚生検での検討が勧められる。

【質問・意見】

質問：父親の既往にパーキンソン病とアルツハイマー型認知症があるが、本症例は孤発性ではなく家族性の可能性があるのではないのでしょうか？

回答：可能性はあると思います。父親の頭部 MRI など詳細は不明です。

質問：発熱の原因はなにか？尿閉があり、尿路感染症だったのか？

回答：前医では溶連菌感染症疑いであり、当院入院時には尿路感染症はありませんでした。



北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン(認プロ)

第55回デメンシアカンファレンス

2019年10月8日(火)18:30～20:00

「倦怠感と尿閉を生じた 神経核内封入体病の症例」

担当:富山大学

対象:認プロ参加施設及びその他の施設の医療関係者
(医療系大学の学生含む)

会場:認プロ参加施設テレビ会議システム設置場所
(〇・・・参加者受け入れ可)

- 〇・金沢大学(医薬保健学域医学類教育棟地下大多目的室)
- 〇・富山大学(附属病院2階カンファレンスルーム2)
- 〇・福井大学(附属病院2階キャンサーボード室)
- 〇・金沢医科大学(基礎研究棟3階大学院セミナー室)
- 〇・国立病院機構医王病院(地域医療研修室)
・石川県立高松病院(医局会議室)
- 〇・国立病院機構北陸病院(特殊診療棟2階小会議室)
・谷野呉山病院(共通棟1階ミーティング室)
- 〇・魚津緑ヶ丘病院(5階会議室)
- 〇・福井県立すこやかシルバー病院(管理棟2階応接室)

※申し込み不要

※出席される方は、受付で出席簿に氏名等をご記入下さい。

※教育コース履修者の方は、本人保管用の受講票を受理の上、検印を受けて下さい。

【お問い合わせ先】

北陸認プロ運営事務局 〒920-8640 金沢市宝町13番1号

TEL:076-265-2149 FAX:076-234-4208

E-mail:ninpro@adm.kanazawa-ac.jp URL: <http://ninpro.jp/>